

村田茂昭教授研究業績

- 昭和42年：Matching Section としての Tapered Line に関する研究
『北海道大学工学部研究報告／43』
- 同 上：HIPAC103 による HARP5020 ソースプログラムのエラー
チェック（共著）『情報処理 Vol.8／5』
- 昭和44年：Weighting Sequence より伝達関数を決定する新方法『電
子通信学会論文誌 Vol.53-C/9』
- 昭和46年：Weighting Sequence より伝達関数を決定する方法（多
重極のある場合）『電子通信学会論文誌 Vol.54-C/1』
- 平成元年：Hertzian Tensor Potentials which Result in Lienard-
Wiechert Potential（共著）『Journal of the Physical
Society of Japan Vol.58／3』
- 平成3年：インパルス応答にもとづく線形定数系のパラメータ決定法
について『札幌大学女子短期大学部紀要 /18』
- 平成4年：パーソナルコンピュータによる擬似乱数の発生とその検定
『同上／19』
- 平成5年：Laguerre 関数展開によるパラメータ決定法『札幌大学女
子短期大学創立 25 周年記念論文集（響文社）』
- 同 上：四次元時空の基本テンソルと重力場の四次元スカラの関係
について－ H. Yilmatz's 1958 理論の再検討『札幌大学女
子短期大学部紀要／21』
- 同 上：相対論的電磁界方程式の対称化について『同上／22』
- 平成6年：Levi-Civita の記号と擬テンソルについて『同上／24』
- 平成7年：H. Yilmatz の 1958 年理論の正常 Riemann 空間への書き
直し（I）『同上／25』
- 同 上：H. Yilmatz の 1958 年理論の正常 Riemann 空間への書き
直し（II）『同上／26』
- 平成8年：三次元 Hertz ベクトルと四次元 Hertz テンソル理論につ
いて『同上／27』

- 同 上：波動方程式を満たす電磁ポテンシャルの創成法『同上／28』
- 平成9年：正常 Riemann 空間における Levi-Civita の記号と座標系の符号について『同上 / 29』
- 同 上：Lorentz 変換の新解釈『同上／30』
- 同 上：偏微係数に関するノート『札幌大学総合論叢／4』
- 平成10年：H. Yilmaz の 1958 年理論の再検討（Ⅱ）『札幌大学女子短期大学部紀要／31』
- 同 上：応用数学としての Riemann 幾何学に関する一考察『同上／32 - 33 合併号』
- 平成11年：標本化定理に関する一考察『札幌大学女子短期大学部創立30周年記念論文集』
- 同 上：H. Yilmaz の 1958 年理論の再検討（Ⅲ）『札幌大学女子短期大学部紀要／34』
- 平成12年：DFT とフーリエ解析の関係について - Excel97 内蔵の FFT/ 逆 FFT ツール - 『同上／35』
- 同 上：H. Yilmaz の 1958 年理論の再検討（Ⅳ）『同上／36』
- 平成13年：Maxwell の方程式から特殊相対論へ - 古典電気磁気学成立過程の歴史的展望 - 『同上／37』
- 同 上：Lorentz 変換の新解釈（Ⅱ）『同上／38』
- 平成14年：4次元時空の Riemann 幾何学表現について『札幌大学総合論叢／13』
- 同 上：FFT によるデジタルフィルタのシミュレーション - Excel2002 内蔵の FFT/IFFT ツール - 『札幌大学女子短期大学部紀要／39』
- 平成15年：擬 Minkowski 時空について『同上／41』
- 同 上：波動方程式を満たす電磁ポテンシャルの創成法（Ⅱ）『同上／42』